

第 6 9 回 卒業式 (3 / 1)

大口高校での3年間でたくましく成長した67名(男子27名,女子40名)の卒業生。今年の卒業式は私にとっても特別な感慨がありました。私自身が卒業生と三年間共に歩んできたという思いと、「里帰り報告会」や「地域貢献活動」等,一緒に学校を創ってきたという実感があるからです。多くの来賓や古希を迎えられた同窓生にも祝福していただきました。すばらしい卒業式ができたと思います。

祝詞 「夢と希望に胸躍らせる大人に！」 別府弘律PTA会長

ご卒業おめでとうございます。三年間という,長い人生においては短い時間ではありますが,皆さんは見違えるように立派に成長されました。



皆さんが成人するには,まだ数年が必要ですが,高校を卒業し大学や専門学校に進学されたり,就職されたりすると,周囲の人たちは皆さんを段々と大人として扱ってくれるようになります。大人になると,法や決まり事などの下で,自由な行動ができるようになります。昨年から選挙権の年齢も引き下げられましたので,選挙を通して政治に参加する権利もあります。しかし,忘れてはいけないのが,自由と権利を得るということは,同時に義務や責任も大きくなるということです。

現代社会において,インターネットは必要不可欠になって来ていますので,私たちの若い頃とは比べものにならないほど,その発言や行動が影響を及ぼす責任の範囲は大きくなっています。自分がその発言や行動をすることで,自分自身はもちろん,自分の周辺の人たちに何が起こるのか想像力を働かせてください。それが,自分の発言や行動に対する責任の第一歩だと思います。

~~~~~  
本校の卒業式は,一人一人に卒業証書を授与します。担任の呼名にも思いがこもります。

~~~~~  
さて,その想像力ですが,今度は,自分の将来を想像してください。皆さんは

自分の将来に夢を持っていますか? 夢を持っている人には,もっと明確な希望が生まれます。そして,その希望はより具体的な目標となります。目標が決まれば,それに向かって計画を立て,行動を起こします。行動を起こせば,そこには実績が残ります,そして,次に向けて反省をすることで,進歩する事ができます。そして,進歩のある人には必ず次の夢が生まれます。

皆さんが,夢を持つことで,この成功へのループが始まるのです。皆さんには,胸いっぱい夢を心に携え,自分を信じて生きていってほしい,そう強く思います。未来は無数の可能性に満ちているとい

うことを信じてください。何も心配はいりません。皆さんには本校で過ごした三年という何にも代え難い事実があります。友達があります。先生方がいます。もちろん私たち保護者もいます。

曇りのない眼でまっすぐ進み、十年経っても二十年経っても夢と希望に胸躍らせる、そんな大人になってください。……ご卒業、本当におめでとうございませう。



送辞：千鳥 恋さん

起草委員

野尻菜々恵さん

多賀夕真さん

答辞：山下真芳君

起草委員

大山凌加さん

畠中太勢君

下山野萌夏さん

益園彩寧さん

山口真悠さん

卒業記念品目録贈呈：田畑 翔君

保護者代表者謝辞（山下仁さん）もありがたいことでした。

卒業式後は最期のLHR。保護者や友達・先生に感謝の言葉が述べられました。

《同窓会入会式と県教育委員会等授与式》 2/28

県教育委員会賞：

向原伶菜さん・澤津一希君・下山野萌夏さん

岩崎賞：大山凌加さん

同窓会幹事……代表幹事 山下真芳君

1組 畠中太勢君 ・荒平裕実さん

2組 井ノ上暁貴君・左近充未来さん

3組 山下真芳君・佐野 瞳さん



「里帰り報告会」・「伊佐市進学奨励金交付式」・「てげてげハイスクール」・「ビブリオバトル」



左上は、1年生による「里帰り報告会」（菱刈中2/27）。

右上は伊佐市進学奨励金交付式。2月28日時点で7名の交付がありました。

左下はアミュプラザでの「てげてげハイスクール」（2/25・26）。

昨年に引き続き、大山凌加さんが岩崎弘志アナウンサーのアシスタントをし、山下真芳君が岩崎アナと漫才を披露しました。



右下は1年生の「ビブリオバトル」（知的書評合戦）。1組と3組代表で決勝戦（2/28）が行われました。

みんなの前で発表する力と本に対する興味が喚起されたことと思います。

